

# 一人一人が輝きを放ち、HEROとなった



体育大会 10月27・30日

文化祭 11月20日



発行所  
岡崎市立葵中学校  
(電話 21-0171)  
(FAX 21-0172)

11・12月号

## 獅子吼ししこ

校長 荻須 文裕

何年か前のことです。紅葉の季節に、京都の宝厳院を訪れたことがありません。その庭は、見事の一言に尽きました。楓の赤色から黄緑色へのグラ

デーションもさることながら、借景の山々や楓の間に見え隠れする松葉の深緑が、味わい深いコントラストを作っていました。一方、地面に目を向ければ、楓の根元には一面の苔が広がっていました。さらに、私の背丈を超える高さの岩が二つ、どつしりと庭の中央あたりに据えられています。この巨石は、咆哮するライオンのように見えるので、「獅子岩」と呼ばれるそうです。そして、この庭が「獅子吼の庭」です。二期の二大行事である体育大会と文化祭を終えることができました。ご協力いただいた保護者の皆様には、厚くお礼申し上げます。

コロナ禍の影響で、両行事とも一か月ほど延期しました。しかし、幸いにも十月から感染者数が激減したことで、体育大会ではグラウンドに全校が一堂に会することができました。昨年は、学年ごとの分散実施でしたので、とても大きな一歩を踏み出した気持ちです。

級友が全力で走り、跳び、投げる姿をみんなで見守る喜び。三年生の渾身の演技「葵の舞」を、憧れを抱きながら真剣に見つめる喜び。競技者や演技者、そして観戦者や観客も一体となり、時間と空間を共有して創り上げた今年の体育大会は、若者のエネルギーが爆発したようでした。

一方、文化祭は昨年と同様に縮小した形式での開催となりました。しかし、吹奏楽部、科学技術部、メディア部芸術部ともに、時間をかけて準備したステージ発表に会場が湧き、丹精込めた展示作品に見学した生徒たちから感嘆の声が聞こえてきました。更に、生徒会ステージに出演した八グループは、限られた時間の中で練習を繰り返してきたことでしょう。息の合ったダンスパフォーマンスや、ソロやデュエットの熱唱が順番に繰り広げられ、体育館中が温かな拍手と歓声に包まれました。

また、エンディングでは、それまで映像配信により教室で参加していた一年生も体育館に入り、全校で一体感を得ることができました。短い時間とはいえ、全校生徒が体育館に入ったのは、実に七五九日ぶりのことでした。

ライオンの咆哮は自信に満ち、他を圧倒する迫力があります。生徒たちが協働する喜びを得て、自信を高めていく葵中でありたいと願います。



# 葵中学校体育大会

輝け！葵 HEROES！  
磨け！自分らしさ

挑め！さらなる高みへ！

令和3年10月27日(水)・30日(土)

## ★体育大会の結果★

競技	優勝		2位		3位	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
総合	7組	7組	6組	6組	5組	5組
1年	男子 7組	女子 6組	男子 3組	女子 5組	男子 3組	女子 3組
2年	男子 3組	女子 4組	男子 4組	女子 6組	男子 4組	女子 1組
3年	男子 1組	女子 3組	男子 5組	女子 5組	男子 3組	女子 1組
生徒会	優勝	2位	2位	3位		
1年	応援旗 5組	応援旗 1組	応援旗 2組	応援旗 3位		
2年	応援旗 6組	応援旗 4組	応援旗 1組	応援旗 2組		
3年	応援旗 1組	応援旗 6組	応援旗 4組	応援旗 1組		
1年	大玉運び 6組	大玉運び 7組	大玉運び 3組	大玉運び 4組		
2年	大玉運び 6組	大玉運び 5組	大玉運び 4組	大玉運び 3組		
3年	大玉運び 7組	大玉運び 3組	大玉運び 2組	大玉運び 4組		

## 初めての体育大会

一年五組

中学に入って、初めての大きな行事は体育大会でした。個人で頑張るところ、学年全校で頑張るところ、どの場面でも一つずつ全力で取り組むことができました。

特に心に残ったことが二つあります。一つ目は、応援旗の部で優勝できたことです。

私は、応援旗作成のリーダーを任ざられて

いて、最初は不安でした。でも、係の仲間と協力して優勝までできたことがすごくうれしかったです。

二つ目は、三年生の葵の舞を見たことです。三年生の、真剣な顔、演技に感動しました。最高にかっこよく、私たちが葵の舞を踊りたいと強く思いました。

## 特に力を入れたこと

二年四組

僕のクラスは、体育大会で総合優勝、女子優勝、男子二位、応援旗二位という成績を残すことができました。なぜ、このような成績を残すことができたかというと、しっかりとめりはりを付けること、仲間と協力すること。この二つを特に意識したからだと思います。

めりはりは、行進や競技の移動の時など、きびきびと行動し、気持ち一つにしてみんなで精いっぱい取り組みました。

また、仲間と協力することは、自分たちだけの応援歌を作り、クラス全員で一丸と



なって声を出したり、喜び合ったりすることができました。

## 先輩の姿を追って

三年二組

僕が葵の舞に出合ったのは、中学一年生のときです。自信をもって、見ている人にも自分の想いを伝えようとしている先輩たちの姿に、鳥肌が立ちました。そのとき、自分もこんなふうに、人の心を動かす舞が踊りたいと思いました。

葵の舞は、一人で踊っても力は起きません。学年というものすごい人数が、一人一人が想いをもって、全力で踊るからその心を動かす迫力や美しさになるのだと思います。そんな葵の舞を目指し、学年の仲間と踊ることができたことを、心の底からうれしく思います。

## 生徒会種目を終えて…

前期生徒会役員

今年度の体育大会では、「仲間と運べ！空飛ぶ大玉」というテーマで生徒会種目を行いました。クラスの絆をさらに深められるような種目にしたと考え、レジャーシートの持ち方などの最低限のルール以外

は、各学年、各学級で自由に決めてもらう形にしました。練習や準備の段階から級長をはじめ、多くの人に協力してもらいま



した。そのおかげで、本番では全校生徒一人一人が「葵HEROES」として輝けるよい種目になり、うれしかったです。

## 伊賀川プロジェクトへの思い

三年二組

僕はこの一年間、伊賀川プロジェクトに毎回参加しました。その理由は、地域の人に喜んでもらえるからです。朝、家族が散歩をしているときに、伊賀川プロジェクトで植えた花の写真を見てきて、うれしそうに見せてくれました。僕もうれしい気持ちになりました。

また、伝統を受け継ぎたいとも思っています。今年植えた球根は、来年の春に咲きます。次の年に繋がる活動なので、がんばろうと思いました。

来年の春、きれいな花で伊賀川が彩られることを願っています。



# 文化祭

オープニング、文化部ステージ発表、生徒会ステージ、作品展示、エンディングを通し、みんなの熱い思いが伝わり、盛り上がりがあった文化祭でした。

令和3年11月20日(土)

## 創造・クリエイト

メディア部

私たちメディア部は「創造・クリエイト」をテーマに活動しています。

各役員がパソコン

やiPadを使い、

自分で考えた作品を

制作しています。

私はパワーポイント

を利用してプレゼン

テーションを制作しました。自分が楽し

むだけではなく、みんなに楽しんでもら

いたいという気持ちを大切に作品を作り

ました。当日の発表は緊張しましたが、と

ても良い経験ができました。

これからもメディア部のさまざまな作品

を通して、デジタルで創造することの楽し

さを感じてもらえたらうれしいです。

## やっぱり科技部がいちばん！

科学技術部

私たちは、今年の活動を通して協力する

ことの大切さを学ぶことができました。

文化祭では、ドライアイスの実験で、ど

うしたら観客を楽しませることができるとい

うことについて、水槽を大きくするな

ど試行錯誤を重ねました。そしてみんなの

協力で本番は成功させることができました。

また、ロボコンでは、ロボットを作る

過程で多くの壁にぶつかりました。役割分

担して制作する中で、自分の担当だけでな

く、部員どうし協力

して知恵を出し合う

ことで壁を乗り越え

ることができました。

これからもこの協力

した経験を生かして

より良い活動をして

いてほしいです。

## 三年間の集大成

芸術部

活動の集大成である文化祭、さまざまな

表現を学び、互いの絵に刺激を受けながら、

それぞれがもつ良さを磨くことができた三

年間でした。

油絵は、みんな初心者でしたが、武道場

に並んだ絵の完成度の高さに驚き、成長を

実感することができました。私は人物画が

苦手、今まで描いてきませんでした。先

生の似顔絵もうまく描けるか不安でした

が、自分の力を出し切

ることができたと思

います。

油絵は中学校で初

めて経験することが

でき、階段アートのよ

うなみんなと一緒に

作品を作る経験も、芸

術部で得ることがで



きました。この経験を、これからの人生に生かしていきたいです。

## 素敵な経験

吹奏楽部

今回の文化祭は、私たち三年生にとって

最後の舞台であり、そしてコロナの影響で

多くのステージが中止になったため、とて

も大切な舞台でした。

三年生は、一人一人がソロパートを担当し、

本番ギリギリまで練習を積み重ねてきまし

た。本番では、これまでにない緊張に襲わ

れながらも、文化祭のオープニングにおま

わしい、みなさんに楽しんでもらえる演奏

ができたと思います。葵中学校の吹奏楽部

としての舞台はこれで最後となってしま

ましたが、素敵な仲間との素敵な経験を、

これからの生活に生かしていきたいです。

## 仲間へ感謝

三年五組

私はダンスが大好きです。だから今年も、

生徒会ステージでダンスを発表させてもら

いました。

曲決めや衣装決め、ダンスの練習など、

とても大変でした。けれども、一緒にステー

ジに立つ友達と協力

し合い、私たちのダン

スを完成させ、全校の

前で披露でき、大きな

達成感を味わうこと

ができました。

コロナ禍での実施

ということもあり、文

化祭が盛り上がるか



どうか不安でした。しかし、生徒会役員や出演者のみなさん、また、照明や音響などの係のみなさん、そして、観客として盛り上げてくれたたくさんの方たちのおかげで、とても楽しく、思い出に残る文化祭となりました。支えてくれた全ての仲間へ感謝したいです。

## 全校が一つになった文化祭

後期生徒会役員

僕たち生徒会は、今年の生徒会テーマである「輝け！葵HEROES！」の実現を目指して、文化祭を計画しました。葵中生一人ひとりがHEROとして輝くには、どうすればいいのか考え、全校合唱をしたり、全校で踊ったりする企画を考えました。

当日は、みんなが笑顔で楽しく歌ったり、踊ったりしてくれて、

全校で盛り上がるこ

とことができました。そ

んな葵中生の姿を見

て僕は、この企画を

計画してよかったと

達成感を味わうこと

ができました。この

文化祭で、全校生徒

の心が一つになった

と思います。



## 被災地支援バザー

復興を願って…

三年一組

今年の夏も全国各地で大雨による被害が多発しました。この状況を受け、生徒会で



話し合い、被災した地域の役に立ちたいと、被災地支援バザーを計画しました。支援先を宮城、静岡、岐阜、広島に決め、自分たちで各県の特産品を調べ、販売しました。学校では、昼の放送を活用したり、地域にはポスターで宣伝したりして、多くの方に購入していただき、感謝しています。また、実行委員が被災の状況のポスターを作るなど、協力してくれたおかげで、支援活動を活性化することもできました。

この活動で、少しでも被災地を元気づけられたらうれしいです。今後も、支援を継続して行えるよう、未来に繋がる活動をしていきたいです。



### 修学旅行を終えて感じたこと

三年一組

今回の修学旅行を通して、私たちが一年生の頃から目標にしてきた「自律」に近づけることができましたと思います。コロナ禍での修学旅行だったので制限されることもありましたが、コロナウイルス対策も考えながら過ごすことで、「自律」の姿勢が高まったと思います。

また、仲間との絆を深めることができました。アクティビティや富士急ハイランドでは、クラスが違う子とも一緒に行動でき、たくさん思い出ができました。充実した三日間でした。

これから、卒業に向けて仲間と協力し合いながら頑張りたいです。



山梨県河口湖にて

## 1月の予定

7日(金)	始業式
11日(火)	岡崎学力検査(1・2・3年)
13日(木)	委員会・3年技能教科記述テスト
18日(火)	3年総合テスト(19日)
20日(木)	ひまわりプロジェクト
21日(金)	生徒議会
24日(月)	全校集会
25日(火)	2年スキー研修(27日)
26日(水)	私立高校・専修学校推薦入試
28日(金)	2年学年休業日
31日(月)	生徒集会

## 表彰の記録

市環境ポスターコンクールゴミ減量部門  
優秀賞

市主張コンクール  
優秀賞

市作文コンクール  
優秀賞

「社会を明るくする運動」作文コンクール  
優秀賞

第二回スイーツレシピコンテスト(山本学園)  
最優秀賞・中日新聞社賞

市技術・家庭科作品展  
入選

### 市理科作品展

入選

### 市社会科作品展

入選

新型コロナウイルス感染症の対応による校内外の行事の縮小や変更を考慮し、葵中新聞の発行が不定期となります。ご了承くださいませようお願いいたします。